

# おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2020年5月号



## 今月の表紙

ふじむら つとむ そら  
藤村 勉さん・空さん  
かなと りと  
奏和くん・理叶ちゃん  
(5歳) (2歳)

- 【特集】みんなでつくる子育ての輪  
子育て支援3事業……………2～3
- 国の特別定額給付金(1人10万円給付)の  
給付までをつなぐ制度を解説します……………4
- 食品でつなぐ、出来ることで支えあう……………5
- 音声訳オープンハート……………5
- お知らせ……………6～7
- 輝き人……………8

# みんなで作る 子育ての輪

## ～子育て支援3事業～



引越などによる環境の変化や家族構成の多様化などにより、妊娠、出産、子育てには多くの不安が生じ、切れ目のない支援が必要になっていきます。このような社会背景のもと、社会福祉協議会では大船渡市から委託を受け、3つの事業を展開しています。

### ○保育士が育児の悩みを解決 (利用者支援事業)

保育士資格を有する職員がつどいの広場に常駐し、相談に応じるほか、つどいの広場までの移動手段がない人には電話相談や家庭訪問による相談も実施しています。地域全体で子育て家庭を支えるために、行政・医療・子育て支援センターなどの関係機関と連携しながら、安心して子育てができる環境づくりに努めています。

### ○会員同士で支えあう (ファミリーサポートセンター事業)

子どもを一時的に預かってほしい時、会員登録をしているあずかり会員が援助を行います。利用には会員登録が必要です。登録料は無料ですが、1人あたり1時間500円(平日午後7時～午後9時、土日祝日は600円)の利用料がかかります。

利用にあたっては、顔合わせ等を行いながら、安心して利用してもらうために、事前の会員登録をお勧めしています。

### ○親子のふれあいの空間 (地域子育て支援拠点事業)

つどいの広場&わいわいステーションは、子どもの社会性を育みながら、親同士が育児の悩みや情報の共有ができる交流の場です。また、子育てに役立つ内容や育児中のリフレッシュを目的とした子育て講習会も実施しています。開設は火曜日から土曜日の午前10時から午後4時まで、利用料は無料です。

### ○お気軽にご相談ください

不要不急の外出が制限される中、親、子どもにもストレスを感じ、子育てにおける新たな悩みを感じている家庭は少なくないと思います。5月1日現在、新型コロナウイルス拡大防止のため、つどいの広場&わいわいステーションは一部業務を停止していますが、子育てに関する相談は、随時、電話・メールにて受け付けています。お気軽にご利用ください。

#### 利用者支援事業

##### \*こんな相談に応じます\*

- ・子どもの発達に関するもの
- ・入園・入学手続きに関するもの
- ・生活環境に関するもの

その他、市内の子育てに関する情報を提供しています。

#### ファミリーサポートセンター事業

##### \*こんな時に利用できます\*

- ・通院(歯科、妊婦健診)
- ・仕事を休めない
- ・上の子の学校(保育園等)行事
- ・一人でリフレッシュしたい
- ・子どもの下校・降園の送迎



#### 地域子育て支援拠点事業

##### \*つどいの広場はこんな場所\*

- ・遊具を使って自由に遊べる
- ・ママ友、パパ友が作れる
- ・先輩ママがスタッフで心強い
- ・毎週火曜日はおおふなぼーとで「おでかけひろば」を開設
- ・1歳を迎えたお子さんにはバースデーカードを贈呈

# 大船渡市内の 利用者支援事業実施機関



市内では、子育て世代包括支援センター（母子保健型）と大船渡市社会福祉協議会（基本型）の2か所で利用者支援事業を実施しています。



## 1 子育て世代包括支援センター

**場 所** 大船渡市保健介護センター  
(大船渡市盛町字下館下14-1)

**T E L** 0192-27-1581

**開設時間** 月曜日～金曜日  
午前8時30分～午後5時15分  
(祝日・年末年始除く)

**職 員** 保健師、助産師

**相談対応** 電話相談、来所相談、家庭訪問

**特 徴** ①保険・医療・出産など専門職と相談ができる  
※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、電話相談のみの対応となります  
②各関係機関と連携して、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援ができる



## 2 大船渡市社会福祉協議会

**場 所** 大船渡市Y・Sセンター  
(大船渡市立根町字下欠125-12)

**T E L** 0192-27-0017 (専用電話)

**開設時間** 火曜日～土曜日  
午前8時30分～午後5時15分  
(祝日・年末年始除く)

**職 員** 子育て支援専門員、子育て支援相談員

**相談対応** 電話相談、来所相談、家庭訪問

**特 徴** ①つどいの広場内で子どもを遊ばせながら相談できる  
②子どもの遊び場や一時預かりなどの情報提供ができる



## 【緊急特集】

# 国の特別定額給付金(1人10万円給付)の 給付までをつなぐ制度を解説します

社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した人の生活を支えるために、次の制度の申請を受付しています。

### (1) 生活福祉資金(緊急小口資金等)の特例貸付

これらの制度は、従来から実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により要件が緩和されることとなりました。

### (2) 住宅確保給付金

今の困難な状況を乗り切るため、生活が立ち行かなくなる前に、相談をしていただくことをおすすめします。

事前の予約をお願いしていますので、まずは電話でお問い合わせ下さい。



## 生活費に関する貸付制度

### ①生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付

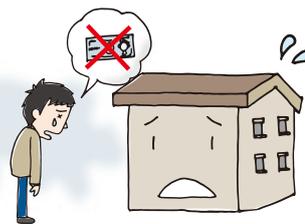
**貸付額** 20万円以内  
(1世帯につき1回限り)  
**償還期間** 据置期間終了後2年以内

### ②生活福祉資金(総合支援資金)特例貸付

**貸付額** (単身) 月15万円以内  
(2人以上) 月20万円以内  
**貸付期間** 原則3ヶ月  
**償還期間** 据置期間終了後10年以内  
**その他** 原則緊急小口資金利用後の利用  
原則定期的な面談が必要

**据置期間** 貸付日より1年以内  
**貸付利子** 無利子(償還期限後は延滞利子が生じる)  
**必需品** (1) 本人確認書類(住民票、運転免許証など)  
(2) 新型コロナウイルス感染症の影響での減収が確認できる書類  
(3) 預金通帳又はキャッシュカード  
(4) 印鑑((3)の通帳のお届け印)

緊急小口資金貸付  
決定後に申請



## 大船渡市による給付制度

### ○生活支援臨時給付金

**給付額**  
緊急小口資金特例貸付額の2割  
例) 20万円貸付 → 4万円給付  
**申請期限**  
令和2年8月7日(金)

**必要物品**  
生活福祉資金貸付決定通知書  
(緊急小口資金)  
**窓口**  
大船渡市生活福祉部地域福祉課

## 住居に関する給付制度

### ○住居確保給付金

**給付額** (単身) 月31,000円以内 ※収入、資産(貯蓄)状況によって給付の可否が決定されます。  
(2人世帯) 月37,000円以内  
(3~5人世帯) 月40,000円以内  
**給付期間** 原則3ヶ月  
**支給方法** 住宅の貸主の口座に直接振込  
**その他** 原則定期的な面談が必要  
**必要物品** (1) 本人確認書類(住民票、運転免許証など)  
(2) 世帯全員の資力がわかる書類  
※新型コロナウイルス感染症の影響での減収が確認できる書類含む  
(3) 世帯全員の全ての通帳  
(4) 印鑑

## 自立相談支援事業

# 食品でつなぐ、出来ることで支えあう

全国的に感染が広がっている新型コロナウイルスの影響により、市民の生活にも変化が生じています。

大船渡市では感染者が確認されていませんが、感染予防に向けた自粛要請などの影響により、収入が減少した世帯から、多くの相談が寄せられています。

社会福祉協議会では、緊急的な貸付を行っていますが、相談時には所持金が残りに少ない方の



混雑防止のため、事前の予約をお願いしています

相談も多いため、食料支援も併せて実施しています。

食料品は企業等を通じて寄せられ、賞味期限が近づいたレトルト食品や缶詰などを活用していますが、相談者が急激に増加し、不足しているのが現状です。事態の終息が見えないなか、困っている方々の生活を支える食料品を募集していますので、市民の方々のご協力よろしくお願ひします。

### ● 募集品

食料品（常温保存可能なもので、賞味期限が1ヶ月以上残っているもの）

例 缶詰、レトルト食品、乾物、お米、麺類等

### ● 受入日時

月曜日～土曜日

午前8時30分～午後5時15分

### ● 問い合わせ先

大船渡市社会福祉協議会  
2710001

## 自分たちの活動を待ってくれる人のために

# 音声訳オープンハート

音声訳オープンハート（菊池まゆみ代表）は、平成20年に発足して以来、長きにわたり視覚障がいを持つている人へ広報おおふなとや社協だよりなどの音声訳を担ってきました。

音声訳は、先天性の視覚障がい者はもちろん、後天的視覚障がいにより点字を十分に学ぶ機会がない人にとっても有益な情報収集の手段です。会員は現在31名で、多くの会



出来上がった音声には、会員のみなさんの創意工夫が詰まっています

員が仕事の傍ら、月に7日間ほど録音、編集作業に取り組んでいます。また、FMねまらいんでもコーナーを担当するなどその活動は広がりを見せています。オープンハートが行う音声訳は、掲載内容を訳すだけでなく、難しい単語や熟語にはその意味を添えています。また、掲載されている写真の情景がイメージできると説明するなど、視覚障がい者への配慮が随所に散りばめられています。

利用している人からは、「いつもありがたいと聞いています。読み方も上手で聞きやすい」と感想が寄せられるとのこと。また、時には利用者やその家族からお礼の手紙もいただくなど、その活動が利用者の人たちにとって、なくてはならない存在となっています。

菊池代表は、「今は、新型コロナウイルスの影響で思い通りの活動ができませんが、待つている利用者のためこれまでどおり頑張っていきたい」と話してくれました。

18日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
22日(月)	ハローワーク大船渡	午前9時～午後4時
25日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
29日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時

### 申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん  
電話 080-8201-0200

### \*就労準備支援事業情報

## フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

日 時 毎週木曜日  
午後1時30分～午後3時30分

場 所 大船渡市Y・Sセンター

内 容 卓球、スポーツ吹矢ほか

持ち物 上靴(動きやすい服装で参加してください)

### \*大船渡市Y・Sセンター情報

## 筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量等がわかる筋力測定会を開催します。事前の申込みは不要です。

日 時 6月20日(土)  
午前10時～正午(午前の部)  
午後1時～午後3時(午後の部)

会 場 大船渡市Y・Sセンター

参加費 無料

### \*大船渡市ボランティア活動センター情報

## 「いわて車いすフレンズ」

## 使用済み切手・書き損じはがき募集

岩手県内の工業高校生が中心となって、利用されなくなった車いすを修理・整備しアジア諸国へプレゼントする「いわて車いすフレンズ」活動を実施しています。

その活動のなかで、整備された車いすを輸送するための費用となる使用済み切手や書き損じはがきを募集します。ご家庭に眠っている使用済み切手や書き損じはがきの寄付をお願いします。

### 【参考】

- 車いす国内輸送費は、高校から空港まで4,500円
- 切手1kg約300円
- はがき1枚当たり5円の手数料を払い、切手に交換

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ

令和2年6月

申込・大船渡市社会福祉協議会  
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性があります。

### \*子育て支援事業情報

## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

### つどいの広場イベント日程(6月)

開催日	内 容	時 間
4日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～正午 午後1時～午後4時
11日(木)	健康相談会	午前10時30分～正午
18日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後4時
	ハローワーク出張おしごと相談	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
24日(水)	双子ちゃん家族わいわいトークの日	午前10時～正午

## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日 午前10時～午後3時  
場 所 おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、6月19日(金)(午前10時～正午)に開催します。

### \*岩手県福祉人材センター情報

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

### 介護のしごと相談日程(6月)

開催日	場 所	時 間
1日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
8日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
11日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
15日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時

(7)参考書類(会則、会員名簿、予算書等)

(8)見積書(備品を購入する場合)

応募締切 令和2年6月10日(水)必着

申込・問い合わせ先

岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター

電話 019-606-1774

又は

大船渡市社会福祉協議会 担当 只野

電話 0192-27-0001

#### \*その他情報

### カブトムシの幼虫を差し上げます

5月5日開催を予定していた、「鯉のぼりこどものつどい」が新型コロナ感染拡大防止により、開催することができなかつたため、本イベント用として準備していたカブトムシの幼虫を差し上げます。希望する人は下記連絡先までご連絡ください。

※1家族1匹になり、40名に差し上げます。

お問い合わせが多い場合は先着順になりますので ご了承ください。

日時 5月23日(土)

午前9時～正午

場所 大船渡市Y・Sセンター

用意するもの 飼育ケース

お問い合わせ先

大船渡市社会福祉協議会 担当 佐々木

電話 27-0001(代表)



#### \*助成金情報

### 令和2年度「ご近所支え合い活動助成金」

安心して暮らし続けることができる地域社会を実現し、県民の社会貢献活動を支援するため、公益財団法人いきいき岩手支援財団が行っている助成制度です。

**対象団体** 県内に住所又は活動の本拠を有し次の活動を行う団体又は法人  
高齢者が主体となつて行う活動  
高齢者等をサービスの対象とした支え合い活動

**助成期間** 助成期間は単年度とする。

※継続して助成することにより事業の効果が高まると認められる場合は、3年を限度として助成。

**助成額** 5万円～30万円

※初年度は30万円、次年度以降は15万円を限度

**助成対象経費** 消耗品、弁当・茶菓子代、交通費、講師謝金など

**事業採択要件** (1)他の助成制度の助成を受けていないこと

(2)過去に同一事業で本助成金を受けていないこと

※その他全8つの要件があり、すべてを満たす必要があります。

**提出書類** (1)助成金交付申請書

(2)団体概況書

(3)事業計画書

(4)申請額調書

(5)年間スケジュール表

(6)年次計画書

### 今月の表紙

藤村 勉さん

空さん

奏和くん(5歳)

理叶ちゃん(2歳)

(大船渡町在住)

撮影に訪れると2人で追いかけてこしたりたんぼを探したり、元気いっぱい。2人のおかげでいつも家は明るいです。



### 我が家のペット

#### 我が家の「マルちゃん」

2年前に家族に加わつたマルちゃんです。元気がよく、毎日楽しそうに駆け回つていて、家のムードメーカーです。

立根町 ペンネーム マル男さん

ちゃんとカメラの方見ていいごど♥



#### 投稿写真大募集!

投稿方法は3つの中からお選びください!

①写真データをメールする

ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付

②写真を郵送する

〒022-0002

立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内  
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係

③本会に直接写真を届ける

①～③ 共通

- ・一言説明コメント
- ・名前(ペンネーム可)
- ・住所(町まで可)を必ず添えてください。

次号締め切り  
6月5日(金)

どしどしご応募ください!

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください

# 輝き人

いとう たか し  
伊藤 貴 思さん(28歳)

大船渡町在住  
千葉の鉄道会社勤務を経て地元にもどり三陸鉄道の運転手として働いている



## 地域の人たちの「繋がり」を大切に

### ○きつかけは千葉でのアルバイト

小さい頃から、鉄道好きで近くの線路に一人で電車を見に行っていました。

高校卒業後、千葉の大学に進学し、税理士か公認会計士を目指して勉強に励んでいました。

しかし、日々電車を使って移動しているうちに小さい頃好きだった鉄道に関わる仕事に就きたいと思ふようになりました。

大学一年のころから、千葉の鉄道会社で駅員のアルバイトを始めました。そこで見た、最前線で働く運転士に憧れ、運転士として働くことを決意しました。

千葉の鉄道会社で働く選択肢もありましたが、「いつかは地元に貢献したい」という気持ちがあり、家族や地元の友人からのすすめも後押しとなって、地元三陸鉄道に就職しました。

### ○運転士になるまで

運転士になるためには約3年間、実技と学科を学ぶ必要があります。必ずしも運転士になれるとは限りません。

1年目は、運転士候補生として、毎日列車の給油や整備業務に従事しながら、勉強を重ね筆記試験に挑みます。

2年目、3年目になると実際、列車を運転し、実技試験合格を目指します。日々学ぶことが多く、大変でしたが、運転士になり地元の方と触れ合いながら、地域に貢献したいという気持ちで励みとなり無事合格することができました。

そして平成30年10月に運転士としてデビューしました。

### ○「繋がり」と「笑顔」

列車を運転するうえで、安全を一番に考えるのはもちろんのこと、お客様とのコミュニケーション

ションも大事にしています。

千葉の鉄道会社で駅員として働いていたときは、分刻みの運行や利用するお客様も急いでいる人が多く、お客様とコミュニケーションを取ることはあまりできませんでした。

三陸鉄道では、運行までの時間に余裕があるので、発車までのお客様との会話や、高齢の方の乗車を手伝う機会が多く、常にお客様とコミュニケーションを取ることが出来ます。お客様と直接かかわることで感謝の言葉を言ってもらえることにとてもやりがいを感じます。

また三陸鉄道では、運賃・切符は手で受け取ることが決まりとしてあります。そのなかでお客様との「繋がり」を大切にしています。

これからも、運転はもちろんのこと、地域の方々のコミュニケーションを大切にし、お客様に「笑顔」で乗車してもらえよう仕事をしたいです。

わぁ！四つ葉がたくさん！いいことがたくさんありますように。今月の社協だよりの中に三つ葉のクローバーが3つかくれています。さがしてみてくださいね！

見つけて  
Happy